

麦類赤かび病に関する情報(第1報)

令和8年3月19日

香川県農業試験場病害虫防除所

麦類赤かび病は、その病原菌が毒素を生成することから、麦類の重要病害虫に位置付けられています。麦の開花期～乳熟期が赤かび病菌に感染しやすくなる時期で、これからの時期の天候が発生の多少に大きく影響します。すなわち、開花期頃の気温が高く、高湿度の日が連続すると多発生しやすくなります。

最も重要な防除時期は開花始めの頃とその7～10日後です。3月19日現在、本年の麦類の生育は、はだか麦、小麦ともに平年より早くなっていますので、開花状況を見て適期に防除しましょう。なお、本情報の開花期予想は綾川町（本県内陸部）における予測であり、平野部～海岸部ではこれより早くなるので注意してください。

1. 麦類の生育状況

農業試験場におけるはだか麦‘イチバンボシ’の**11月上旬播種の予想開花期は3月28日で、平年より3日程度早くなると予想されます。また、小麦‘さぬきの夢2009’の11月上旬播種の予想開花期は4月9日で、平年より1日程度早くなると予想されま

表1 麦類の出穂及び開花の状況（農業試験場作況試験圃場：綾川町）

(3月19日時点)

麦種	品種	播種期	出穂期		開花期 ^{注1)}	
			平年値 ^{注2)}	本年 ^{注3)}	平年値 ^{注2)}	本年 ^{注3)}
はだか麦	イチバンボシ	11月上旬	3月23日	3月20日(予)	3月31日	3月28日(予)
小麦	さぬきの夢2009	11月上旬	3月27日	3月26日(予)	4月10日	4月9日(予)

注1) 開花期は40～50%の穂が開花する時期を示す。

注2) 平年値は平成27年播き～令和6年播きの10か年の平均値である。

注3) (予)を付して赤字で示した日付は、綾川町における予想値である。

2. 気象経過と赤かび病発生条件の出現状況（別表参照）

- 3月19日現在、高松市アメダスでは、子のう孢子飛散条件を満たす日は出ていません。
- 高松地方气象台3月12日発表の四国地方の週別の平均気温と天候によると、3月14日～3月20日までは平年に比べ晴れの日が多く気温は平年並み、3月21日～3月27日までは平年に比べ晴れの日が多く気温は平年より高い見込みです。

3. 防除情報

- 現在、赤かび病に適用のある薬剤は、発病前に散布しないと防除効果がないため、開花始期には必ず防除を実施しましょう。
- 気象経過に注意しつつ、追加防除の時期を決めましょう。

表2 赤かび病の防除時期、防除薬剤等

	防除時期	防除薬剤	希釈倍数	使用時期／回数
1回目	開花始め頃	トップジンM水和剤	1,000～1,500 倍	小麦：収穫 14 日前まで／ 出穂期以降は2回以内 はだか麦：収穫 30 日前まで／ 出穂期以降は1回
2回目	1回目の7～10日後	ワークアップフロアブル	2,000～3,000 倍	小麦：収穫 7 日前まで／ 3回以内 はだか麦：収穫 7 日前まで／ 3回以内

(資料：小麦、はだか麦の栽培しおり)